

アンケート及びヒアリングの結果について

平成31年3月27日

経済産業省製造産業局

車両室

1. 目的

- 産業構造審議会製造分科会車両競技小委員会でとりまとめられた、昨年3月の「競輪事業の持続的発展のための課題解決に向けて－産業構造審議会製造分科会車両競技小委員会とりまとめ－」及び同7月の「競輪事業の持続的発展のための課題解決に向けて－具体的な取組のための制度設計－」を受けて、**経済産業省として、必要な法的手当の検討を行っていたところ。競輪施行者の具体的なニーズを把握するため、アンケートを実施。**
- また、**その内容等についてヒアリングを実施。**

2. 実施日及び対象施行者

- (1) アンケート：昨年9月11日、**全競輪施行者43施行者**（首都圏（埼玉、東京、千葉、神奈川県）：8施行者、地方：35施行者）にアンケートを送付し、同月26日、全て回収。
- (2) ヒアリング：昨年9月12日～10月5日、**25施行者にヒアリングを実施**。（ヒアリングは、面会及び電話で実施）

| | アンケート質問内容 |
|-------------------------------|---|
| 質問1 (資金ニーズについて) | 仮に使途制限のない資金支援があった場合に、どういう取組を実施したい(競輪事業全体に裨益するものでも、自場単独に裨益するものでも構わない)という施行者の皆様からのニーズがあれば教えていただきたい。 全輪協のアンケート調査では、中央団体(JKA・全輪協等)からお客様を引き付けるような企画を打ち出すべきとのご意見もあったが、仮に各施行者の皆様はその立場であった場合どのような企画がありうるか、アイデアをお持ちであれば教えていただきたい。 |
| 質問2 (複数施行者で実施できるような企画について) | また、各施行者単独では提案しにくい、資金があれば、複数の施行者が共同でできたらいいと思うような取組みがあれば教えていただきたい。 |
| 質問3 (緊急性等について) | その取組がいつまでにやらないとまずいとか、この時期までに間に合うとより成功する可能性が高いといった、急いで実施する必要があると期間設定ができるものであるかどうかもしあれば教えていただきたい。 |

3. アンケートの結果（概要）①

質問1 資金ニーズについて（上位意見）

| | | |
|----|--|------|
| 1位 | 施設の老朽化対策、イメージ向上に向けた施設整備・改修等 | 20意見 |
| 2位 | 設備（大型ビジョン、場内モニター、自動発払機、wi-fi設備等）導入、更新 | 12意見 |
| 3位 | 競輪のイメージアップにつながる広報（TVCM、TV番組放映等） | 9意見 |
| 4位 | 本場、場外を含めて3～4場を同時に販売できるシステム開発、場内設備の整備 | 7意見 |
| 5位 | 場外受け事務委託の導入（中央での売上集計システムの導入含む） | 6意見 |
| 6位 | オフィシャルのインターネット投票の強化（投票時間の延長、ミッドナイトレース後の翌日モーニングレースの情報提供等） | 5意見 |
| 同 | インターネットユーザーをメインターゲットにした広報の実施（SNS、Youtube等含む） | 5意見 |
| 8位 | 全国で払戻が可能となることや、ネットを活用した場内での発売が可能となるようなシステムの構築 | 4意見 |
| 同 | （現在は発売していない）単勝賭式の導入（復活） | 4意見 |
| 同 | 競輪を題材にした漫画、アニメ、ドラマ等の制作 | 4意見 |
| 同 | インターネット等での海外での車券発売 | 4意見 |
| 同 | 外向け場外の整備（設置） | 4意見 |
| 同 | 投票キャッシュレス化（設備導入含む） | 4意見 |

その他の少数意見としては、「大手ポイントと連携した投票（来場）ポイントの付与（3意見）」、「場内イベントの充実（3意見）」や「ロビーカム（ワイヤー上のカメラによる特殊撮影）等による迫力ある映像の提供（2意見）」、「初心者にわかりやすい7車立てレースの実施（2意見）」、「スター選手の育成（2意見）」等の意見があった。

3. アンケートの結果（概要）②

質問2 複数施行者で実施できるような企画について（上位意見）

| | | |
|----|-------------------------------|-----|
| 1位 | 外国人(インバウンド)向けの取組 | 6意見 |
| 2位 | 投票マークカード、投票券の統一化 | 3意見 |
| 同 | 競輪選手育成ゲームアプリ等の開発や携帯ゲームとのタイアップ | 3意見 |
| 同 | 全国のGグレードレース(特別競輪含む)の旅行(バス)ツアー | 3意見 |

その他の少数意見としては、「豪華客船やカジノ向け発売機の設置(2意見)」、「複数の施行者が1つの競輪場を共同で管理・運営・使用をしていく仕組みの構築(2意見)」、「カップ戦のてこ入れ(2意見)」、「グランプリを頂点とした各GIにストーリー性を持たせる(2意見)」、「選手賞金の振込(2意見)」、「移動式の大型ビジョン、照明、発払機を全施行者が共同管理し、必要に応じて開催時に活用する(1意見)」等の意見があった。

質問3 緊急性等について（上位意見）

| | | |
|----|------------------------------|------|
| 1位 | 特になし | 15意見 |
| 2位 | できるだけ早期に | 8意見 |
| 同 | 2020年東京オリパラに向けたストーリーをもって取り組む | 8意見 |

その他の少数意見としては、「支援期間は限定した方がよい(1意見)※重複回答」、「2～3年以内に(1意見)」、「全場の足並みを揃える調整期間が必要(1意見)」及び「平成35年度までに実施すべき(1意見)」、「未回答(9意見)」との意見があった。

4. ヒアリングの結果（概要）①

(1) 資金使途について(ハード関係)

- 「競輪場自体の施設老朽化が課題であり、支援を頂けるのであればありがたい。」との意見が多くあり。
- 「外向場外発売施設の設置費用負担」や「併売拡大のための改修費用のための資金活用」について複数の意見あり。
- その他、「トラック荷台型の大型ビジョンの導入」、「Wi-Fi環境の整備」などの意見も少数あり。

(2) 資金使途について(ソフト関係)

- イベントの充実などのアイデアについて複数の意見あり。例えば、「これまで実施していた場内イベントの拡充」、「B級グルメフェスティバルのような全国統一的なイベント開催」、「選手会の協力を得て行うファンサービスイベントの提案」、「バンク内大型モニターでの映画上映会」など。
- 「テレビCMの放映拡大、競輪ドラマ作成、イメージキャラクターの露出度の増加」、「クリエイター公募によるPR動画、CM作り」、「SNS、ブロガー、ユーチューバー等の活用」や「競輪のイメージを払拭するようなプロモーション活動」、「認知度を高め、親近感を持ってもらえるような各種媒体の露出増加」などの意見あり。
- インバウンドの取り込みについても、「クルーズ船」や「競輪観戦ツアー」などのアイデアや、「IRとの連携」などの意見あり。
- 「中央団体や国の強力なリーダーシップが必要。失敗して頓挫するのではなく、失敗してもよいので、チャレンジングな取り組みを行えるような制度設計が必要。」との意見あり。

4. ヒアリングの結果（概要）②

(3)資金使途について(制度見直し関係)

- 「センター化のための資金活用(職員派遣方式から事務委託方式への変更など)」、「投票キャッシュレス化等のための資金活用」について複数の意見あり。
- 「電子マネーの導入」、「払戻業務の一括管理システムの導入」、「開催準備金の無利子貸出の仕組みの構築」についての意見あり。

(4)その他

- 「レース映像の使用許諾による使用料収入を獲得したらどうか。」、「各場によって放映内容がバラバラになっている番組中継内容の統一や、メーカーにより異なる投票マークカード、投票券の統一によるコスト削減をしたらどうか。」との意見あり。
- 「これまで以上に「選手」に着目して競輪の面白さ・ドラマティックな部分を打ち出していく必要がある。」、「9車立てが面白いと言っているファン層は毎年10%減っている。今後は7車立てレースを増やしていく必要がある。」、「ミッドナイトも頭打ちになるのでガールズドリームトーナメント(FⅡ(平日)時にガールズ戦6レース実施)などの新しいチャレンジをすべき。」との意見あり。
- 「競輪界のスーパースターが生まれたら注目度が高まり活性化するのではないか」、「施設が綺麗だと人が集まるので施設を綺麗にすることが最大のファンサービス」、「競輪は他の競技に比べて当たりづらいし分かりにくい」との意見あり。